

【平成 31 年度 薬剤部 活動・業績】

【英文原著】

- 1) Masami Tsuchiya, Taku Obara, Takamasa Sakai, Kaori Nomura, Chizuko Takamura, Nariyasu Mano.
Quality evaluation of the Japanese Adverse Drug Event Report database(JADER).
Pharmacoepidemiol Drug Saf. 2020 Feb ; 29 (2) : 173-181.
- 2) Masami Tsuchiya, Taku Obara, Makoto Miyazaki, Aoi Noda, Chizuko Takamura, & Nariyasu Mano.
The quality assessment of the Japanese Adverse Drug Event Report database using vigiGrade
International Journal of Clinical Pharmacy. 2020 Feb 4. [Epub ahead of print]

【和文原著】

和文総説

- 1) 土屋 雅美：「抗がん薬による皮膚障害とその対策」
医薬品相互作用研究, Vol.43, No.3, p.21-33, 2019 年

【和文・その他】

- 1) 鈴木 義紀：第 I 章 総論 2. 「救急・集中治療領域における PK / PD 理論」
救急・集中治療領域における感染症診療, p.17-26, 2019 年 6 月
- 2) 土屋 雅美：特殊な高血圧におけるマネジメントの勘所-③「がん化学療法の副作用としての血圧上昇」
薬局, Vol.70, No.10, p.103-107, 2019 年 9 月
- 3) 鈴木 義紀：抗菌薬アナザーストーリーズ 第 16 回 「イミペネム/シラスタチン」
J-IDEO, Vol.3, No.5, p.792-793, 2019 年
- 4) 土屋 雅美：「ラスブリカーゼ (ラスリテック®)
がん化学療法レジメン管理マニュアル第 3 版, p.580-7

[国内学会]

- 1) 鈴木義紀, 遠藤史郎:「DPC データを用いたがん専門病院における抗菌薬の使用状況の検討」(口頭)
第 67 回日本化学療法学会総会, 東京, 2019 年 5 月 9~11 日
- 2) 森兼啓太, 平野龍一, 佐々木悟, 鈴木義紀, 新妻一直, 小山和明, 白野倫徳, 三谷晶子, 中木原由佳, 潮平英郎:「抗菌薬不均質指数の問題点とその評価: 感染管理システムの活用」
第 67 回日本化学療法学会総会, 東京, 2019 年 5 月 9~11 日
- 3) 中木原由佳, 平野龍一, 佐々木悟, 鈴木義紀, 新妻一直, 小山和明, 白野倫徳, 三谷晶子, 潮平英郎, 森兼啓太, 中島誠:「感染管理システム施設連携研究会 22 施設による抗菌薬使用動向と耐性菌分離率の国内共同サーベイランス」
第 67 回日本化学療法学会総会, 東京, 2019 年 5 月 9~11 日
- 4) 土屋 雅美: シンポジウム 8. 薬薬・多職種・施設間連携でさらに広がるがん領域の薬剤師業務 (オーガナイザー)
日本病院薬剤師会 東北ブロック第 9 回学術大会, 秋田, 2019 年 6 月 1~2 日
- 5) 角田聡, 鈴木義紀, 岡元華菜子, 猪岡京子, 高村千津子:「当院における抗微生物薬採用見直しの取り組みーその 2」(ポスター)
日本病院薬剤師会 東北ブロック第 9 回学術大会, 秋田, 2019 年 6 月 1~2 日
- 6) 岩部 翠, 三上貴弘, 土屋雅美, 伊藤久美, 臼渕公敏, 山崎知子, 猪岡京子, 高村千津子:「エピシル®口腔用液の使用感、容器の操作性に関する質問紙調査」
第 4 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会, 青森, 2019 年 9 月 6~7 日
- 7) 鈴木 義紀: シンポジウム 10. 医療現場における薬剤耐性 (AMR) 対策: エビデンスに基づく実践「AMR と抗菌薬適正使用支援活動」(シンポジスト)
第 59 回日本臨床化学会年次学術集会, 仙台, 2019 年 9 月 27~29 日
- 8) 鈴木 義紀: テーマ: チームのために個を磨く
「薬剤師と耐性菌感染症」(シンポジスト)
第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会・第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 合同学会, 仙台, 2019 年 10 月 16~18 日

- 9) 土屋 雅美：シンポジウム 19. 患者のアレルギー・副作用を上手に管理するためのエッセンス～副作用の発見から管理・報告まで～「どんな副作用を報告すべきか？副作用報告の臨床における活用方法」（シンポジスト）
第 29 回医療薬学会年会，福岡，2019 年 11 月 2～4 日
- 10) 内田敬，土屋雅美，猪岡京子，村川康子，高村千津子：「ドセタキセル投与患者の手足症候群発症率及び重症度と、室内環境との関連性の調査」
第 29 回医療薬学会年会，福岡，2019 年 11 月 2～4 日
- 11) 三上貴弘，土屋雅美，猪岡京子，加藤浩，高村千津子：「当院における抗がん薬治療中の静脈血栓塞栓症に対する直接経口抗凝固薬の安全性に関する検討」
第 29 回医療薬学会年会，福岡，2019 年 11 月 2～4 日
- 12) 嶺岸なつみ，土屋雅美，江刺晶央，猪岡京子，高村千津子：「宮城県立がんセンターにおける皮膚症状ケアハンドブックの有用性に関する質問紙調査」
第 29 回医療薬学会年会，福岡，2019 年 11 月 2～4 日
- 13) 土屋 雅美：「米国のがん専門病院におけるがん医療と薬剤師の役割」
日本臨床腫瘍薬学会 実務スキルアップセミナー，東京，2019 年 12 月 15 日

【講演】

- 1) 江刺 晶央：「薬剤師によるリスク管理計画（RMP）の臨床的応用～宮城県立がんセンターでの取り組み」（特別講演）
広島県病院薬剤師会学術講演会，広島，2019 年 6 月 13 日
- 2) 土屋 雅美：「薬剤師が見たチーム医療・地域連携の取り組み～MD アンダーソンがんセンターと当院の場合～」
The 27th Sendai Oncologist Salon，仙台，2019 年 7 月 26 日
- 3) 鈴木 義紀：レクチャー1「一度整理してみよう！カテーテル関連血流感染症」
IDATEN pharm in，仙台，2019 年 7 月 27 日
- 4) 土屋 雅美：「乳がんチーム医療におけるケアとフォロー」（パネリスト）
乳がんチーム医療勉強会，仙台，2019 年 7 月 29 日

- 5) 土屋 雅美：「宮城県立がんセンターにおける がん薬剤師外来と支持療法の取り組み」
オンコロジー東北 WEB セミナー, 名取, 2019 年 8 月 26 日
日本臨床腫瘍薬学会 実務スキルアップセミナー, 東京, 2019 年 12 月 15 日
- 6) 土屋 雅美：「vigiGrade を用いた副作用自発報告の質評価」
AMED 委託研究 医薬品等規制調和・評価研究事業 眞野研究班 講演会 薬剤師に求められている副作用報告, 仙台, 2019 年 9 月 21 日
- 7) 鈴木 義紀：テーマ：「エキスパートに聞く難治性感染症の抗菌化学療法」症例 2. 「5 日前からの右下肢痛を主訴に外来受診した悪性リンパ腫の 80 代女性」
2019 年 東北医科薬科大学 臨床感染症サロン, 仙台, 2019 年 9 月 24 日
- 8) 江刺 晶央：「薬剤師によるリスク管理計画 (RMP) の臨床的応用“宮城県立がんセンターでの取り組み”」
福岡地区勤務薬剤師会 第 665 回例会, 福岡, 2019 年 10 月 9 日
- 9) 角田聡, 鈴木義紀, 岡元華菜子, 猪岡京子, 高村千津子：「当院における抗微生物薬採用見直しの取り組み」
宮城薬剤師学術フォーラム 2019, 仙台, 2019 年 11 月 10 日
- 10) 鈴木 義紀：「宮城県における AST 活動の現状と課題」
みやぎ ICT フォーラム, 仙台, 2019 年 11 月 15 日
- 11) 土屋 雅美：「南東北各県におけるエリアの現状～がん領域の教育 (スキルアップ、後進育成等) について～」
南東北ブロック Oncology Pharmacist Community Forum 2019, 仙台, 2019 年 12 月 7 日)
- 12) 鈴木 義紀：テーマ：「胆道系感染症」(ファシリテーター)
IDATEN pharm セミナー, 横浜, 2020 年 2 月 13 日
- 13) 浅野 二未也：「当院における皮膚障害対策の取り組み」
第 8 回名取市薬薬連携がんセミナー, 名取, 2020 年 2 月 19 日